

役畜農用機具と種類

種類	馬	耕牛	乳牛	発動機	モーター	ディーゼル	四輪車	三輪車	その他
地区	頭	頭	頭	台	台	台	台	台	台
柿岡	5	75	84	138	166	227	30	8	
芦穂	112	54	69	252	151	276	54	18	
恋瀬	39	114	181	149	250	281	29	9	
瓦会	39	66	128	174	185	289	27	3	育雛キ2
園部	10	71	120	241	156	356	56	11	
林	10	131	52	143	236	318	71	10	
小桜	43	79	81	198	138	287	58	15	
小幡	33	100	84	189	211	265	39	12	
計	291	690	799	1,484	1,493	2,299	364	86	2

定による「農地及び採草放牧地に関する申告書」(八郷町では一〇アール以上の農家を対象)の集計がまとまりましたのでその結果の一部をお知らせします。

小作地が減少し、自作地が増加

農地などの集計結果まとまる

昭和41年度 農地の集計表

地区名	戸数	区分	自作地		小作地		自作地+小作地	
			筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
柿岡	520	田畑	2,099	18,450.1	408	3,990.6	2,507	22,440.7
芦穂	608	田畑	2,579	23,598.5	526	3,962.8	3,105	27,561.3
恋瀬	589	田畑	3,517	26,035.7	532	4,004.4	4,049	30,040.1
瓦会	500	田畑	4,352	33,032.3	632	4,354.2	4,984	37,386.5
園部	615	田畑	3,272	19,906.8	757	5,151.2	4,029	25,058.0
林	489	田畑	3,750	25,081.3	703	4,726.0	4,453	29,807.3
小桜	516	田畑	3,518	21,844.5	477	3,539.4	3,995	25,383.9
小幡	636	田畑	4,066	29,767.9	425	2,871.4	4,491	32,639.3
小計	4,473	田畑	2,338	19,631.6	364	2,520.9	2,702	22,152.5
合計	4,473	田畑	4,294	54,208.7	401	3,652.3	4,695	57,861.0
		田畑	2,280	22,116.7	389	3,876.0	2,669	25,992.7
		田畑	3,425	33,937.1	488	3,803.3	3,913	37,740.4
		田畑	3,105	22,528.5	668	5,512.4	3,773	28,040.9
		田畑	4,101	23,841.3	786	4,326.6	4,887	28,167.6
		田畑	3,132	25,992.6	475	3,444.1	3,607	29,436.7
		田畑	4,061	31,559.9	572	3,389.5	4,633	34,949.4
		田畑	23,261	176,506.5	4,070	32,039.0	27,331	208,545.5
		田畑	30,628	255,027.0	4,533	31,086.1	35,161	286,113.1
合計	4,473		53,889	431,533.5	8,603	63,125.1	62,492	494,658.6

果樹と面積

種類	桑畑	梨畑	柿畑	栗畑	みかん	ブドウ	桃畑	その他
地区	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
柿岡	1,856.8	329.3	166.0	1,724.2	—	—	23.2	139.6
芦穂	808.7	418.3	736.6	4,015.2	226.8	—	18.0	37.9
恋瀬	557.2	152.6	88.2	1,493.4	78.2	—	—	32.8
瓦会	1,064.9	307.8	44.8	3,653.8	199.4	44.9	8.5	215.2
園部	2,064.1	1,312.7	3,078.9	14,225.6	388.0	23.6	149.7	1,344.9
林	500.3	747.5	458.7	6,254.5	—	242.0	22.6	—
小桜	2,884.7	1,256.7	256.2	3,658.7	32.4	32.2	—	677.2
小幡	761.4	2,124.1	994.2	3,134.4	406.4	105.3	73.7	302.9
計	10,498.1	6,649.0	5,823.6	38,159.8	1,331.2	448.0	295.7	2,750.5

父子契約の内訳

部門契約	19戸
経営譲渡契約	23
こづかい契約	8
賃金契約	5
歩合制	2
計	57

「父子契約」すでに57組

農業後継者に育成資金

町では、昭和四十年放牧地に関する申告書(八郷町では一〇アール以上の農家を対象)の集計がまとまりましたのでその結果の一部をお知らせします。

定による「農地及び採草放牧地に関する申告書」(八郷町では一〇アール以上の農家を対象)の集計がまとまりましたのでその結果の一部をお知らせします。

定による「農地及び採草放牧地に関する申告書」(八郷町では一〇アール以上の農家を対象)の集計がまとまりましたのでその結果の一部をお知らせします。

部門契約の内訳

酪農	5戸
養豚	5
養鶏	6
養鶏	1
果樹	2
計	19

収穫の秋



ウンカの被害で豊作くずれる

史上最高とまでいわれた今年の稲作も、突然の「ウンカの襲来」によって平年作もしくはそれ以下になりそうだと心配されています。

すでに予約米の出荷が行なわれていますが、10月10日現在で、昨年の同期と比較すると20%も少なく約70%しか出荷されていないとのことです。

ウンカの被害は、山合いの稲作に多く、平地の乾田などではそれほどでもないとのことです。なんとといっても米は農家にとってたいせつなものですから、平年作を上回ってほしいものです。

(写真は「野こき」をする人々＝柿岡下宿で)

結核健康検診予定表

月日	時間	地区	場所
10.20	10~2	大塚	大塚公会堂
21	"	大増	入江勝一氏宅
22	"	小見	恋瀬出張所
25	10~12	太田	太田区民館
26	"	中戸、半久	中戸公民館
27	10~2	片野、金指	岡野正氏宅
28	"	八重、長堀、高友	丸山荘病院前

(注) 22日まではバス、25日から可搬式になります。

10月の納税

町民税 第三期
有線放送使用料
今月は、出張徴収と同時に、町税、国保税、有線放送使用料、国民年金、共済掛金などの奨励金を支払いますから、代表者のかたは印鑑持参のうえおいでください。



戦死者の兄弟に特別弔慰金を支給

ただいま、戦死者の兄弟、姉妹に特別弔慰金支給の受付をしております。

戦死者の父か母が、すでに五万円又は三万円の弔慰金を受給したが、その後、父母ともに死亡して、現在年金又は扶助料の受給権者がなくなっている場合、戦死者の兄弟、姉妹に三万円の特別弔慰金が支給されます。

加入資格と手続き
常時従事する従業員の数が二〇人(商業、サービス業等は五人)以下の企業の事業も会社の役員または企業組合の役員であればだれでも加入できます。自分一人での事業をしていても加入できます。

掛金の額は、一口月額五百円。一人で一口まで加入できます。くわしいことは、商工会へお問い合わせください。

移動図書館
「ときわ」巡回日
11月17日(木)

「はかり」「ものさし」を定期検査します

「はかり」「ものさし」の定期検査を「ます」などの定期検査を実施することになりました。定期検査は、町民においでいただき、一回実施し、取りまたは証明のうえにおいて、不確定な計量器を使用し、不正な計量をするのを防止しようというものです。

検査日程

11月12日	林、小幡地区
14日	小幡
16日	柿岡
17日	芦穂
18日	恋瀬
19日	瓦会、園部

(注) 場所、時間などは有線などでお知らせします。

国共済制度

従業員には、失業保険や厚生年金保険または中小企業退職金共済制度が、就職後の生活を保障します。

同じように、経営者にも生活の安定をはかり、事業の再建や転業をするための資金が必要で、

小規模企業共済制度は、昭和四十年から国が始めた経営者のための一つの共済制度です。将来の不安をなくし、明るい経営をすすめるためこの制度をご利用ください。

心配ごと相談
11月2日 9日
16日 30日
いつでもすきなときに八郷公民館においでください



⑧ 瓦会小学校

私たちの学校には北へ二キロほど行った難台山の頂上近くに約二ヘクタールの学校林がある。これは、山に情熱を傾けている地区内部の豊後病院院長鈴木豊先生のお骨折りによってできたものである。五十年の契約で国から官林を借り、五十年後の利益は学校が七割、国が三割で分け合う。ここに地区内全家庭の協力で五千本の松と杉の苗木を植えた。その後、年に二回の下草刈り仕事を受け、父兄生徒先生で山小屋を建築するが、昨年は学校林手入コンクールで三位に入賞した。私たちはこの学校林を五十年先の経済林とだけ考えていない。ここを教育の場として大いに活用するように努力している。ここに二〇平方メートルの山小屋を建てた。小屋は父兄、生徒、先生が山の上まで運び上げて作ったもので、黒板もとりつけた。愛鳥週間には、七〇個ほどの巣箱も学校林やその附近に取りつけた。ここからは、自分たちの住んでいる部落も、学校も農協も、郵便局も見え、これからは、学校林をたいせつにし、桜を植えたり、宿泊所も建てたいと、いろいろ夢をいだいている。

友の会 瓦会
●野田・滝川よし江、国谷けい、白田とも、白田ふく、●瓦谷・石田道夫、●宇治会・萩原清、市村良栄
●柴田・三浦はる、坂川庄兵衛、市村栄一、真家璋一、市村幸子、杉山茂之祐、久保田都之助、小松吉雄、●山崎・藤野梅夫、藤野千代、安達利男、武井雄三、栗野静江、●新谷・石井はま、鈴木くに、菅谷志、中村英正、久保田芳男、菅谷竹子、久保田ふく石井岩、鈴木とみ子、石井はる、石井よし子、石井房子、石井さだ、久保田よし乃、石井さく、石井もと、鈴木あや、石井よし、菅谷丈子、鈴木や

●戸の内・鈴木栄次郎、●加良寿理・島田レイ子、●下林田上七郎、菊地久

●荒宿・鯉淵徳松、鯉淵栄子、木村幸雄、●上宿・国谷こう大関照正、赤羽根弘一、真家せつ、桜井佳三、千田政市、鈴木よし、滝田国雄、●仲町山中和夫、●新宿・松田和夫、久保田長夫、江畑志津江、●北町・太田豊、●内宿・岩田雅康、小林成至、中島秀夫、●下宿・鈴木あさ、上曾忠、川井太市、浜野進、金子奈都子、平泉、鈴木千代子、●館・助川博、大塚千代吉、幡野さく、幡野芳、富山一成、市塚美織、市塚和子、久保田茂

●高友・滝田志郎、●八重・小仁所久子、小松崎忠夫、小松崎永治、谷田部平、小松崎末子、●片野・赤羽根実、渡辺平

●種子・足立毅、瀬尾慎造、●一の沢・鈴木誠、●上宿・桜井清、小池敏次、●中宿・富田正男、●下宿・戸下量一、●横町・込山薫、桑山善男、海老沢勝一、桜井幸保、込山栄、込山守明、深沢秀夫、●須釜・助川久士、塩谷房次、●細谷・海老沢進平、●上青柳・岩波芳松、岩波悦子、●下青柳・高橋光明、高橋栄、●加生野・中島秋夫、田村勇里、広瀬四三郎、上田清四郎、上田正滋、上田源吉、上田武一郎、富田貞夫

●鯉岡・田島克雄、●上山・井川徳太郎、鈴木長一郎

●小幡

10月「小桜保育所」がスタート

開所式、来賓など出席して盛大に

10月1日から小桜保育所が開所した。この保育所は、中学校の統合による廃校舎を利用し、農村の人手不足による子どもの保育と、社会福祉を目的としてつくったものです。



来賓、児童、父兄などを前にしてあいさつする町長

「町民の要望にこたえて、農家の人手不足などからくる子どもの保育と社会福祉というところから、中学統合による廃校舎を利用して開所したもので、今後、小桜保育所を第一号として、順次、八郷町に保育所を設置したい」とあいさつがあった。



母さんからいろいろなお話しや注意があった。小桜保育所の入所児童定員は六〇名ですが、募集しめきりまでには八三名になりました。そこで、九月二十八日、小桜分館に関係民生委員さん一〇名が出席して審査会を開き、保育所入所基準によって年令、地域などを考慮し、慎重審議して、六〇名を決定しました。

全日本写真連盟八郷支部（代表太岐口泰順氏）では敬老の日（三地区の八〇歳以上の老人たち、一人一人を記念撮影し、写真を贈った）のたいへん感謝されました。記念撮影は、すでにはじめてから三年目を迎えます。

たがいま 共同募金運動中！

共同募金運動中！

大会の成績は次のとおりです。

(約一〇〇人) 農業以外の業従事者が多かったが、

『カンづめ』の
マークの読み方

どんなものでも、＼カンづめ＼として食べられる今日このごろですが、＼カンづめ＼をじょうずに買う方法の一つとして、＼カンづめ＼の製造年月日などを知ることだってあります。

そこで、カンづめのふたのマークの読み方をお知らせしましょう。一番上の段は品名調理法、形を表わします。例

(約一〇〇人) 農業以外の業従事者が多かったが、

ば、MOはミカン、Yはシロップづけ、Lは大粒ということとです。

中段は製造会社の名前で、一番下の段には製造年月日が書かれています。数字の第一字目が西暦の最後の数字で、六なら一九六六年を表わします。第二字目は月数で一月から九月までは数字、十、十一月は、O、Y、Zとローマ字を使います。第三、第四はその日付です。

俳句 増子海哉選

雲一つなき中空に冴えわたる今宵の月の名残を惜しむ
細谷 金沢 翠柳

いま着きにけり
蔓珠沙華の花のくれなゐ雨に濡れてはなやく道を子ら
登校す
俚 謡
今日の喜び分け合ふ二人茶の間明るい歌老日
長寿ことほく老等の幸を祝う九月の十五日
川 又 川 又 鬼城
半 田 関 朴堂
青 田 田 上 青峰

俳句	短歌	俚謠
增子海哉選	吉田次郎選	林 嶺月選

俳句
白鷺の白輝くや秋高く
色づきて垂穂豊かに夕明り
手を振ってわかるる姉や今朝の秋

東成井
山崎
細谷
小池
荒井
金沢
西保
岳山
翠柳

短歌
青日
日上
岳屋

雲一つなき中空に冴えわたる今宵の月の名残を惜しむ
細谷 金沢 翠柳

いま着きにけり

互谷 増子 久子

雙珠沙華の花のくねな大雨に濡れてはなやく道を子ら
登校す

今日の喜び分け合ふ二人茶の間明るい敬老日

長寿ことほく老等の幸を祝う九月の十五日